

【奨励賞】

まだおいしいよ？
売れ残り集めちゃいました！

武蔵野大学 経済学部	藤原 武瑠
〃	竹内 美月
〃	牧野 夢加
〃	丸田 倭太郎

(要旨)

日本では年間約 600 万トンもの食品が廃棄され、そのうち外食産業による廃棄が約 4 割を占めている。また、その食品の廃棄にも多額の費用が掛かっており、経済損失は測り知れない。一方で、世界的には人口増加が進む中、食糧不足問題への関心は日々高まっている。

本論文では、こうした日本の食品ロス問題解決の手がかりとして、鉄道駅構内に、食品ロス市場を創設することを提言する。具体的には、営業終了時間が早い店舗の売れ残り品や型崩れ商品等を集め、消費者が通勤・通学等でアクセスしやすい駅構内にて安価で販売する。また、月額会員制サービスとすることで、一定の収益を確保するとともに、話題性や知名度を高めるために、SNS を積極的に利用して、店舗への集客を行う。

本提案の実現により、外食産業の食品ロスを減少させることを通じて、日本の食品ロス問題解決の一助となることを期待する。